

逖 【逖】

【読み】 テキ

【意味】 とおい、はるか

〔形声〕 声符は狄^{てき}。狄に逖遠の息がある。金文に「戰逖^{ひつてき}」「克逖^{こくてき}」のように、遠く征伐・追討する意に用いる。狄は犬牲と火とに従い、邪悪を遠く祓う儀礼を示す字であろう。

〔説文〕 二下に「遠ざくるなり」とし、古文として逖を録する。逖には剔除^{てきじょ}の意がある。

〔書、牧誓〕は武王が殷の紂王を伐つときの辞で、その属する諸小侯に「逖^{はる}かなり、西土の人よ」とよびかけている。

〔左伝、僖二十八年〕に「王慝糾逖^{おうとくきうてき}せよ」とあり、王意に違うものを追放することをいう。金文の「戰逖^{ひつてき}」に近く、本来動詞的な語である。

①とおい、はるか、とおざける。②惕^{てき}と通じ、うれえる。

【逖聴^{てきちやう}】 はるかに聞く。

漢・司馬相如〔封禪文〕 伊^これ上古の初め、肇^{はじ}めて昊穹^{かうきゆう}の民を生ぜしより、列辟^{りつへき}（君）を歴選^{れきせん}して、以て秦に迄^{いた}る。

邇^{ちか}きに率^{したが}ふ者は武（歩）を踵^つぎ、逖^{はる}かに聴^きく者は風聲あり。

↑ 逖遠^{てきえん} 遙^{てう}かに遠^{えん}い／逖出^{てきしゅつ} 遠^{てう}くゆく／逖成^{てきせい} 長^{ちやう}くみだりがわしい樂声／

逖逖^{てきてきて} 利を求めるさま／逖聞^{てきぶん} はるかに聞く／逖慕^{てきぼ} はるかに仰ぎ慕う

【参照辞書辞典】 不明

逖

【読み】 テキ／チヤク

【意味】

①とおい。はるか。

〔説文〕逖、遠也、从辵狄聲。

〔書、牧誓〕逖矣西土之人。

〔傳〕逖、遠也。

②とほざける。とほざかる。

〔左氏、僖、二十八〕糾逖王慝^一。〔注〕逖、遠也。

〔易、渙〕渙、其血去、逖出。〔注〕逖、遠也。

③うれひ。

〔易、渙、虞注〕逖、憂也。

④物のさま。逖逖(3)を見よ。

⑤或は狄(7-20290)に作る。

〔集韻〕逖、或省。

⑥古、遡(11-38950)に作る。

〔説文〕逖、遡、古文逖。

【参照辞書辞典】『大漢和辞典』大修館書店